



■使用評価マニュアル： CASBEE-建築(新案)2016年版、名古屋市長官舎環境配慮施設活用マニュアル2016 使用評価ソフト：CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

評価結果

1-1 建物概要				1-2 外観	
建物名称	(仮称)北区平安一丁目計画			階数	地上15F
建設地	名古屋市北区平安一丁目1112番1			構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域			平均居住人員	140 人
地域区分	6地域			年間使用時間	XXX 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅			評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2023年1月 予定			評価の実施日	2021年5月14日
敷地面積	631 m ²			作成者	
建築面積	303 m ²			確認日	
延床面積	3,219 m ²			確認者	

外観パース等
図を貼り付けるときは
シートの保護を解除してください

2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価(レーダーチャート)
= BEE1.0 ★:S:★★★★★ A:★★★★ B+:★★★★ B-:★★★ C	☆☆☆ 100%超:☆☆☆ 100%:☆☆☆ 80%:☆☆☆ 60%:30% 標準計算 このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO2排出量の目安で示したものです	

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q 環境品質

Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.3

項目	スコア
音環境	3.2
温熱環境	3.0
光・視環境	3.2
空気質環境	4.2

Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.8

項目	スコア
機能性	2.5
耐用性	3.1
対応性	2.9

Q3 室外環境（敷地内）

Q3のスコア= 1.7

項目	スコア
生物環境	1.0
まちなみ	2.0
地域性・	2.0

LR 環境負荷低減性

LR1 エネルギー

LR1のスコア= 4.0

項目	スコア
建物外皮の	3.0
自然エネ	3.0
設備システ	5.0
効率的	3.0

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 2.6

項目	スコア
水資源	3.4
非再生材料の	2.4
汚染物質	2.7

LR3 敷地外環境

LR3のスコア=3.1

項目	スコア
地球温暖化	4.5
地域環境	2.0
周辺環境	3.0

3 設計上の配慮事項		
総合		その他
省エネルギー性に考慮した設計とした。		
Q1 室内環境	Q2 サービス性能	Q3 室外環境 (敷地内)
遮音性能T-2のサッシを採用し遮音性能を高めた。F☆☆☆☆建材を全面的に使用し化学汚染物質の軽減に努めた。	高度情報化社会に対応するべく、光ファイバーネットに対応可能とした。	敷地内緑地面積を10%確保した。
LR1 エネルギー	LR2 資源・マテリアル	LR3 敷地外環境
潜熱回収型給湯器を採用し効率を向上させた。	節湯水栓と節水型便器を採用し、資源の有効利用に配慮した。	潜熱回収型給湯器を採用し、温暖化防止へ配慮した。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目スコア・結果シート	
(仮称)北区平安一丁目計画	
■使用評価マニュアル:	CASBEE-建築(新築)2016年版、名古屋市建築物環境配慮制度運用マニュアル2
■評価ソフト:	CASBEE_Nagoya_2016(v3.0)

重点項目		評価	全体に対する 重み係数	重点項目 スコア
1. 温暖化対策				3.8
LR1	エネルギー	4.0	0.4	
LR3.1	地球温暖化への配慮	4.5	0.1	
LR3.2.2	温熱環境悪化の改善	1.0	0.05	
2. 自然共生				1.3
Q3.1	生物環境の保全と創出	1.0	0.09	
Q3.3.1	地域性への配慮、快適性の向上	無	0.009	
Q3.2	まちなみ・景観への配慮			
Q3.3.2	敷地内温熱環境の向上	2.0	0.045	
3. 循環型社会				2.7
LR2.1	水資源保護	3.4	0.06	
LR2.2	非再生性資源の使用量削減	2.4	0.18	
LR3.2.3	地域インフラへの負荷抑制 ※2	3.0	0.01875	

結果	
1. 温暖化対策	評価点 = 3.8 
2. 自然共生	評価点 = 1.3 
3. 循環型社会	評価点 = 2.7 

重点項目のスコアは以下のように算出している。

重点項目スコア = $\frac{(\text{評価点} \times \text{全体に対する重み}) \text{の総和}}{\text{全体に対する重みの総和}}$

※1 ここでは、Q3. 3. 1の評価する取組みのうち評価項目 1 2) 地域性のある材料の使用 又は、Q3. 2において評価する取組みのうち評価項目 4) 地域性のある素材による良好な景観形成 のいずれかでポイントがある場合は「有」、ない場合は「無」を評価とした。重点項目スコアの算出における評価点は評価「有」の場合は5、「無」の場合は1とし、重みはQ3. 3. 1の全体に対する重みに0. 2を乗じたものとしている。

※2 ここでは、LR3. 2. 3のうち、LR3. 2. 3. 3 交通負荷抑制 を除いたもので評価点及び全体に対する重み係数を算出している。したがって、ここでの評価点はスコアシートにおけるLR3. 2. 3の評価点とは異なるものである。